

会社名： 大福製紙 株式会社 ものの生産者



### 【会社概要】

所在地：岐阜県美濃市前野 422 番地

代表者：取締役社長 松久 豊太郎

資本金：5,400 万円

従業員：102 名

（正社員：89 名、パート社員：13 名）

大福製紙の歴史は、1934 年（昭和 9 年）、美濃地方の和紙商であった松久永助が仲間とともに機械漉和紙製造工場を設立したことが始まりである。謄写版原紙（ガリ版。

昔の印刷方法）から麺帯紙（そうめんなど面を束ねる紙）、西陣織の金銀糸用原紙（高級帯の糸）まで、さまざまな製品を手がけるようになり、現在に至る事業の礎を築いた。

その後、大蔵省印刷局指定工場として操業、昭和 24 年印刷局が民間調達を廃止したのち、マイカ（フィリピンでとれるマニラ麻を原材料とした和紙）を貼り合わせる電気

絶縁紙の開発に成功した、これを契機として機械漉和紙事業から、和紙の特性を生かした特殊紙事業に大きくシフトした。現在では化学的な技術も取り入れながら家庭用品、建築、医療、食品など幅広い市場に向けた高機能製品を展開している。

【事業内容】特殊紙事業～マスキングテープが全体売上げの7割を占める～

「均一で、薄くて、強い」という和紙の持つ特徴を生かした、各種原紙から含浸塗工による加工紙（マスキングテープ）などの工業資材用原紙、さらにはハイテク技術を加味した、生活資料原紙の製造を行っている。



### 【商品】

- ・粘着テープ原紙（両面テープ、マスキングテープなど）
- ・電子材料用原紙（コンデンサーのセパレーター用、電気絶縁用）
- ・建材用原紙（メラミン化粧板用）
- ・工業用特殊紙
- ・特殊高級うす紙（あぶらとり紙、ハムケーシング用紙）
- ・衣料用原紙（金銀紙用原紙、ニット製品用原など）
- ・その他（銀行札束帯封、防滑紙など）



### 【経営理念】「優れた製品造りを通して社会に貢献する」

「和紙」から「ハイテク原紙」、さらに含浸塗工による加工紙（マスキングテープ）にと、紙の持つ無限の可能性を追い求めている。今後も研究・開発に取り組み、特殊紙のパイオニアとして広く社会のニーズに答えていきたいと考えている。

### 【地域社会への取り組み】

#### 【地域環境への取組】

2005 年 9 月、ISO14001：2004 の認証を取得

「エコロジーだけドテクノロジー」を合言葉に「良い製品は良い環境から」の企業理念のもと、地域環境及び清流長良川の豊かな「自然との共生」を考えて行動している。

#### 【地域社会への取組】

美濃市など、公共機関が開催する行事へ積極的に応援をしている。

- ・美濃商工会議所会員
- ・ツアーオブジャパンでの所有地無償提供
- ・美濃市花火への協賛と駐車場無償提供
- ・自治体との懇談

### 【社長様からのメッセージ】

弊社は、清流長良川のほとりの四季折々の緑と花に囲まれた山紫水明の地、美濃市で創業しています。「環境を大切に」という企業姿勢が社会への大きな貢献になるという信念のもと、豊かな自然に培われた想像力豊かな発想を生かしながら、最先端のテクノロジーに挑戦する「研究開発型企業」として、これからもグローバルに社会貢献できる製品作りに取り組んでいます。高校生の皆さん。商売はグローバル化しています。高いアンテナを張り、色々な経験をすることで見聞を広め、将来を舞台に活躍できるように頑張ってください。そのためには、色々なことにチャレンジすることが必要です。皆さんが活躍することを祈っています。

